東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー テーマ
奉仕を通じて平和を

Vol.46　第2236回例会　2012.10.25

今年度会長テーマ　和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
田中例会運営委員長

■点鐘：中丸会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：
石山会員

■会長報告　中丸会長

皆さんこんにちは。猛暑だった夏も終わり、気候も秋めいて朝晩は寒く感じるようになりました。温度差の多い気候ですので風邪などひかないようご自愛下さい。

本日はガバナー訪問前クラブ協議会に、山田ガバナー補佐・松村分区幹事ようこそおいで下さいました。また、去る18日のＩＭではお世話になり有難うございました。

今年の石川ガバナー年度では、ガバナー公式訪問時にクラブ協議会を行わず卓話のみとなり、ガバナー補佐がクラブ協議会に出席されることにより例年にも増しガバナー補佐の役割が重要となっています。後ほど当クラブ五大奉仕部門の各委員長より発表がありますので、ご指導並びに講評を宜しくお願い致します。

さて、私は本年度の会長方針を「和で輪を広げ、前に進もう」をテーマにさせて頂きました。今まで「和」をもとにして45年の歴史を刻んできた我がクラブを、再度「和」を中心にして広がりのある「輪」にして行きたいと思います。親睦から奉仕の心を磨き、そのエネルギーが職業奉仕、社会奉仕を通じて地域社会、国際社会へと広がるものだと思います。親睦による「和」を充実させ、会員増強を含めた「輪」を拡げて行きたいと思っています。

会長就任から約4カ月、活動方針に掲げた5項目の内で実践できているのは1～2の項目に過ぎませんが、今後とも頑張りますので会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

どうも有り難うございました。

■幹事報告　野村直前幹事

■ロータリー財団委員会：
（在京）地区ロータリー財団セミナー開催の案内の受理
2012年12月4日（火）　15:00～
Ｒ財団委員長（必須）含む3名以上出席との事

■沖縄分区ガバナー補佐：
・（沖縄分区）国際奉仕委員長会議開催の案内

2012年11月21日(水)　10:00～
於　ホテル日航那覇グランドキャッスル

・沖縄分区Ｉ･M2012の案内について
2012年11月21日(水)　14:00～
於　ホテル日航那覇グランドキャッスル

■ガバナー事務所：
・ガバナーノミニー候補者発表について
当地区ガバナー指名委員会より
2015～16年度ガバナー　鈴木　喬 君(東京江北ＲＣ)

・ロータリー世界平和フォーラム(ドイツ)の通知について
2012年11月30日～12月2日ドイツベルリンにて開催
＊メール配信の為、関心のある方は直接ガバナー事務所へアクセスして下さい。

■バギオ基金：
第4回定時評議員会議議事録の受理

■国際ロータリー日本事務局：
11月のロータリーレート　1ドル＝80円

■ロータリー文庫：決算書の受理

■クラブ奉仕委員会：
武蔵野・多摩分区合同「クラブ奉仕研修セミナー」開催の案内
2012年11月19日(月)　15:00～
於　立川グランドホテル
基調講演　上野操パストガバナー
「魅力あるクラブ奉仕」

■東京新都心ＲＣ：地区協議会報告書の受理

■例会変更：
東京小平ＲＣ　2012年10月31日(水)→移動夜間例会

■お客様紹介

■お客様紹介：
目時パスト会長

◆ゲスト：多摩分区ガバナー補佐　山田宗孝 様
多摩分区幹事　松村博文 様

■出席報告　中條会員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
31	22	0	7	75.86

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：89.66%
■前々会メークアップ者：
飯田会員：京都西ＲＣ
小町会員：理事会
中條会員：立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　山宮クラブ管理委員

◆中丸会長・野村直前幹事：
山田ガバナー補佐、松村分区幹事ようこそおいで下さいました。本日のクラブ協議会よろしくお願い致します。また先日のＩＭでは大変お世話になりました。
◆樺澤会員：山田様、シカゴからご好誼を頂きありがとうございます。今日はＩＭに引き続きご指導下さい。
◆山本会員：山田ガバナー補佐、松村分区幹事、本日はよろしくお願い致します。
◆戸澤会員：山田ガバナー補佐、松村分区幹事、ようこそおいで頂きました。先日のインターシティーミーティングお疲れ様でした。
◆野澤会員：山田ガバナー補佐、松村分区幹事、ようこそ東村山へ。クラブ協議会よろしくご指導下さい。

本日のニコニコ合計：　15,000円
累　　計　：　564,000円

■３分間スピーチ

■発表者紹介：
山本職業奉仕委員長

皆様、こんにちは。本日の3分間スピーチは、直前会長の小町会員にお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

■小町会員

17年前の1995年、阪神淡路大地震がM7.3、1923年の関東大震災はM7.9、2011年3月11日東日本大震災はM9でした。M(マグニチュード)と言うのは地震の大きさを表す尺度でM7超えると大地震、M8超えると巨大地震と言われます。震度とはある場所での揺れの程度を表す尺度です。現在日本は0～7段階、震度5、6は強と弱があり全てで10段階です。

さて、皆さん3.11はどこで体験されましたか。私は東大和市内の神社社務所で大正時代建設された築90年の木造平屋建て瓦葺きを調査していた時です。ゆったりとした大きな揺れでしたが大きな被害は無かったですが。揺れがおさまり垂直計測を見たところ柱が約3㎝の傾いてました。ところが築16年でコンクリート杭を50本打ち現行法に対応した木造2階建ての強固な建物の棟瓦が落下しました。最近伝統住宅実大振動実験(礎石に柱が直接載る形式と柱脚固定)したところ固定は大変形したが伝統工法はひび、割れが見られたが倒壊、崩壊には至らない事が実証された。強固に作り抵抗だけでなくやわらかさも取り入れた建物も良いと思います。現在の基準は100年に一度、震度6強から7に対して倒壊、崩壊せず、数10年に一度発生する震度5強の地震に対し損傷しないとされてます。簡単な耐震チェックもあります。

■クラブ協議会

■司会：野村直前幹事

■ご挨拶：
多摩分区ガバナー補佐
山田宗孝 様

私は緊張しますと喉をやられるのですが、3年前も地区大会の前日に喉を悪くしまして、当日の司会進行をまともに行われないという大失敗をしてしまったのですが、今日もこちらに伺うことが非常にプレッシャーになっていたようで、聞きづらくて申し訳ありません。当クラブの皆さんには、大変お世話になっております。いろんな方と知り合いにならせていただいて、また、外国へ一緒に連れて行っていただきまして、私の人生に東村山ロータリークラブの皆さんの顔というのが錦上花を添えていただいている、そのように大変うれしく思っております。

また今日は大変申し訳ございませんでした。連絡のミスがございまして到着が遅れてしまいました。今日はこれから、クラブ協議会を聞かせていただきます。また、先日のＩＭに際しましては、大変多くの皆様方のご出席をいただき、また、野村さんからは素晴らしい自慢話を聞かせて頂きまして、ありがとうございました。きっと子供たちも一生の宝物になるのではないかなと思います。西武球場で野球をやる機会は、お金を出してもなかなかできません。そういう体験をされて非常に素晴らしいことだなと思います。

今、耐震工事の話が出ましたが、私が住んでいる建物は360年前に建てたもので、今でも住んでおります。石の上にポコッと乗っかっているだけですが、まだ今まで一度も倒れた記録はありませんので、やはり丈夫だなと感じております。3月11日の震災の日、私は海外から帰ってきたばかりでまだ時差が残っており、実はベットの中で寝ていたという、大変不謹慎でありました。

では、今日は皆様方の報告を聞かせて頂きたいと思います。何卒どうぞよろしくお願い致します。

■ご挨拶：
多摩分区幹事
松村博文 様

皆様、こんにちは。先週のＩＭでは大変お世話になり、ありがとうございました。行き届かなかった点も多々あるかと思いますが、ロータリーのご友情ということでご容赦いただきたいと思います。今日で多摩分区での5つ目のクラブ協議会を行わせていただきます。あと残りが2つです。また、ガバナー公式訪問も2クラブ終わりまして、あと5つのクラブを残すのみという形なのですが、こちらにも、もう一度お邪魔させていただきます。その節は、ガバナーと一緒にきますので、またよろしくお願い致します。

先ほど、耐震で東日本大震災の話が出ましたが、今週の21(日)、22(月)と石巻の大川小学校、大勢の生徒と10名程の先生が亡くなられた小学校を見てきました。その学校の裏手に写真だけが飾ってあり、100世帯ほどのお宅が写っていましたが、すでに今は何もない状態で、ただ小学校だけがポツンと残っている。災害の恐ろしさをつくづく感じました。また、明日、明後日と、女川の方に研修旅行に行くことになっており、同じ方面に1週間に2度行くというハードスケジュールですが、その中で、また違う風景、瓦礫なども目の当たりにするのかと思うと気は重いのですが、被災地の現状を見るのも勉強ですし、女川の商工会でいろいろとお話しをしていただけるということで、伺ってきます。

本日は私も一緒に勉強させて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

■野村クラブ奉仕委員長

本日は、山田ガバナー補佐、松村分区幹事ようこそおいでくださいました。今年度クラブ奉仕委員長を務めます野村高章です。

まず東村山市について、少しご紹介したいと思います。東村山市は東京都の北西部に位置し、武蔵野台地のほぼ中心部にあり、狭山丘陵を含んでいます。東側には清瀬市・東久留米市、南は小平市。そして、西側には東大和市に隣接しています。交通に関しては、私鉄の西武各線・ＪＲ武蔵野線が縦横に走り、中央には新青梅街道と府中街道が交差する緑豊かな都市です。市内には、武蔵野の面影を残す八国山緑地(宮崎駿監督のアニメ映画である　となりのトトロ)や6月の花菖蒲で賑わう北山公園。また、国の指定建物正福寺の地蔵堂等数多くの景勝地があります。また、東村山市の木は欅で梅岩寺のケヤキは東京都の天然記念物であり、市の花はツツジで、八国山に自生するヤマツツジであり、市の鳥は、ハクセキレイで尻尾の長いスマートな野鳥です。また、平成24年1月1日現在の人口は、15万3,337人男女別だと女性が約2,000人程多くなっています。

そのような背景を持つ、我がクラブのクラブ奉仕委員会の構成をご紹介したいと思います。クラブ奉仕と言えば、まず例会運営が基礎です。親睦から奉仕へと繋がる為の例会、この例会運営を統率するのは、何事にも死ぬ気で挑戦するゴルフの賞金稼ぎのような田中委員長です。例会の司会は、例会運営委員全員が当番制でやりくりし、また他の会員より早めに会場に到着し、会場の設営から撤収までと旧ＳＡＡと出席部門の仕事に就きます。事業計画としては、1.出席率の向上に努め、活気ある明るく楽しい雰囲気作りをする。2.来訪者には、細心の心配りで対応するように努める。3.会長・幹事・その他の委員会に、全面的に協力する。以上3項目をあげていて頑張っています。

プログラム委員会は、相羽委員長を中心に委員長のこれまでの人脈の広さを象徴するような、洗練された卓話者が控えています。8月30日の卓話では、元日本航空ＣＡの柳田真知子様を迎え「おもてなしの心」を実体験しました。そして、会長方針でもある会員の3分間スピーチを組み込み会員相互の親睦に役立てています。

クラブ管理委員会は、いつも滑舌豊かな石山委員長が主体となり、夏場の家族親睦移動例会に始まりChristmas例会、そして暖かくなってからの親睦旅行(今年は沖縄で行われる地区大会参加)等の多くの会員の参加が見込める企画を立てます。更には、毎週の週報の製作作業にかなりの時間を必要としますが、簡素にして充実した、解りやすい週報を作成して頂きたいと思っています。その他にも地区・分区内の諸行事に参加し、親睦の輪を広げていくことも必要でしょう。

会員増強委員会は、ここ数年間の懸案事項ともいうべき会員減少を、何とか解消できるよう戸澤委員長を中心に全会員一丸となって、勧誘を積極的に推し進める必要があります。会員を増強する事に関して秘策は無く、前年度から声を掛けている方を継続的に追いかけるのが、良いのではないでしょうか。自分たちのクラブをより楽しく、明るくするには会員全員が、傍観者的立場にならずにこの人ならばと言う方に積極的に声を掛けていく必要があると思います。そして、入会予定者とその家族とも食事会を持ち、ロータリーを理解して頂く事が一番だと思います。

そして会員研修委員会につきましては、会長経験者の指定席ですので、ネットワークの広さを活用して頂き、地区やその他委員会等において最も新しい情報を収集して、会員に提供して頂く事が必要です。また、毎月発行されるロータリーの3大義務の一つである「ロータリーの友」にある重要な記事を紹介して頂きます。更には、職業奉仕委員会とも連携して、会員に研修の機会を設けて行きます。

以上今年度クラブ奉仕部門の各委員会を紹介しましたが、全体として大切な事は、クラブ全体のリーダーシップを発揮しなければならないと考えています。今年度、そして次年度に繋げるためにクラブを牽引していくつもりでいます。ただし、1人1人の力は限られています。例えば戦国時代の歴史上の人物を参考にするならば、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康を足したような雰囲気のクラブ奉仕委員会に成れないだろうかと考えます。ホトトギスをどうするか？信長は殺してしまえ、秀吉は鳴かせてみよう、家康は鳴くまで待とうという事でした。何を言いたいかと言うと、信長は室町時代までの古い社会制度を壊し、土木建設が得意だった秀吉は、無から有を生み出し家康は、2人の先輩がやったことを修正し、長期にわたり維持管理したと言われています。我がクラブは45周年を経過し、過去の素晴らしい会員達が残してくれた多くの遺産を、時には突き破り、修正し、今後しっかりとした土台を構築し、守っていかなければならないと考えています。この考えをクラブ奉仕部門に当てはめてみると、今の世の中クラブ設立当時とは大違いで、インターネット、フェイスブック、ファクスやメールですぐに結果が出てしまい、かなりのスピードで進んでいます。それぞれの委員会の委員長には、常に研ぎ澄まされた意識を持ってもらいつつ、諸情報を束ねて、早め早めに判断する事によって、良い緊張感が生まれ諸問題に対して、決断力が付いてくるのではないでしょうか。人任せにしないで、各々がその場面で処理して、次につなげられるような活動を目指したいと考えています。でも気を付けなければならない事は、もう1つ例えるならば、高圧電線に例えて考えてみると良いかもしれません。強い風や雪の重みに耐えられるようにたるませておき、決して一直線には張らない。今の世の中いろんな意味で、2点間の最短距離を直線で結ぶ事ばかり求めています。それでは、切れてしまい何にもなりません。

そんなことにならないように、クラブのリーダーシップのあり方をクラブの伝統に裏打ちされたスピードと決断力に求めるとともに、親睦なくして奉仕なしも追求したいと存じます。

■山本職業奉仕委員長

皆様こんにちは。本日は「ガバナー公式訪問前クラブ協議会」ということで、山田ガバナー補佐、松村多摩分区幹事におかれましては、お忙しい中をお越し頂きましてありがとうございます。本年度の職業奉仕委員長を仰せつかりました、山本智治と申します。どうぞよろしくお願い致します。

先ほど、震災の話がありましたが、3月11日、私は入間市のコストコの横のアウトレットにいました。ドスンと横に強い揺れがきましたが、陳列棚は揺れてはいるけど落ちないし、ショーウィンドウのガラスにひびも割れもこないし、ここにじっとしていた方がいいのかなと思い、周りのお客様は外へ飛び出していったのですが私は冷静に見ることができました。なぜかというと、人間もそうなのですが経験を積むという意味で地震の経験を積んでもどうかとは思うのですが、実は新潟中越地震のときに

震源地から4㎞程しか離れていないホテルに病院の旅行で行っておりました。忘れもしません、夕食の宴会が始まる5分前に、そろそろ宴会場に行くか、とソファーに座っていたところ、ソファーごと持ち上がるような下から突き上げる強い衝撃を受けまして、一瞬パニックになりました。その後、非常に激しい横揺れがきて、部屋に6人程男性がいたのですが、やはり当然、皆さんパニックになります。8階にいるのに窓を開けて外へ出ようと行動する人、入り口のドアが閉まったら出られないと開けに動く人、皆さん真剣に行動していました。もちろん電気は一瞬で消え、エレベーターも止まりました。悲鳴も聞こえ、このまま潰れて死んでしまうのかな、という感じを自分でも受けました。でもその後、冷静にホテルの誘導があり、揺れが収まってすぐ、1階の一番頑丈なロビーに避難をし、その後も、もし建物に歪みがあったりして潰れてはいけないということで、大きな駐車場のバスの中(ほとんどがバスの団体客だったので)に待機して炊き出しを食べたという思い出があります。怖い局面で死の恐怖を味わいました。そのおかげで、3月11日は幸い震源地から遠いということもあり、激しい揺れや壊れがなかったので意外と冷静沈着に行動することができました。仕事も地震もロータリーも経験を積んで勉強することによって、人間がどんどんできてきて落ち着いて物を見て行動できるのだなと感じました。

さて、本題に戻りまして、まずは本年度のクラブ奉仕委員会のメンバーを紹介させて頂きたいと思います。委員長は私 山本、副委員長 高橋眞会員、委員 野崎一重会員 北久保眞会員の4名で頑張らせて頂きます。

本年度の活動方針は中丸会長が掲げました「和で輪を広げ、前に進もう」を基本理念として職業奉仕の和を実践し、クラブ内での職業奉仕の輪を広げていきたいと思います。具体的には、まず会長方針にもあり、地区職業奉仕委員会も推奨しております、3分間スピーチを実行させていただいております。会員数が減少し、会員の年齢の高年齢化、新人メンバーと古い会員の年齢差などが起こす諸問題の解消の為にも、改めてクラブメンバー各自の人間性を知り、各メンバーの職業を再度理解し、クラブ内部の職業奉仕の意識を高めていくためにも大変に役に立つと思われます。

次に歴史あるロータリーメンバーの会社の職場見学を予定しております。長年の歴史を通して代々受け継がれてきた企業理念と企業倫理を、自分の目で、耳で、体で感じていただくにぜひ実施したいと考えております。

最後になりましたが、プログラム委員長とスケジュール調整をしながら、地区職業奉仕委員長に卓話をお願いしたいと思っております。本来ですと、新年度になりすぐに本年度の地区職業奉仕委員会の本年度の方針等を理解するために、卓話をお願いするのがベストですが、なかなか年度初めは時間がとれないのが現状のようです。

最後になりましたが、まだまだ職業奉仕理論では勉強不足の委員長ですが、頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

■嶋田社会奉仕副委員長（漆原委員長代理）

皆さん、こんにちは。社会奉仕委員会の本年度の計画につきまして報告させていただきます。山田ガバナー補佐、松原幹事、大変ご苦労様です。ガバナー補佐になると毎年同じことを何回も聞きながらお忙しい思いをされているのだな、と思います。毎年、東村山でも同じことを発表しているのは事実で、大変申し訳ないのですが例年通り発表させて頂きたいと思います。

社会奉仕委員会は委員長が漆原さん、副委員長が私、嶋田、委員が村越さん、飯田さんと4名で委員会を構成しております。

活動方針として、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することであると記されています。奉仕の理念を活動目標として、ロータリーを楽しみながら奉仕を実践していきたいと思います。

事業計画としまして、今年度は3つの計画をしました。

1.空堀川の清掃

昨年は武蔵村山、東大和、清瀬、東村山、各クラブが東村山市美住町からぼり広場に集結し空堀川の清掃を行いました。非常に好評で今年も実施を計画しましたが、諸般の事情により中止となりました。また、近い将来4ロータリー合同で奉仕活動が出来たらと思います。

2.産業祭への参加

当クラブでは、20年以上も継続して、当市の産業祭で模擬店を出店し多くの会員、消防少年団、交通少年団の団員にお手伝いを頂き、ロータリーのＰＲ活動や物資の販売を行い、その収益金は両少年団の活動資金として提供してきました。ここ数年は戸澤会員、秋山元会員のご協力で玉葱やゴボウ等、格安販売してきましたが、今年度は被災地の方々を少しでも応援できればと思いまして、被災地農協と交渉中です。ぜひ、11月10日、11日の2日間、産業祭の販売にご協力をお願い致します。

3.献血への協力

近年、輸血用の血液が不足していると聞いています。特に秋から冬にかけての期間が血液不足になるそうです。原因はいろいろあると思うのですが、夏場は先生(医者)も夏休みをとるので手術の回数も少なくなるので血液も不足しない、また、暖かいと献血者が多く集まるそうです。寒くなると献血者の数も少なく、手術の回数も多くなるので血液不足となるのだそうです。そこで来年、1月か2月頃に献血へのご協力をお願いしたいと計画しています。献血者1台50～70名の採血が平均となっています。会員の皆様と従業員の方を含めて200～300名位の採血が出来れば最高です。なお、60～65歳の間に一度も献血をしたことがない方(66歳以上の方)は採血できませんので従業員を一人でも多く参加させて下さい。

実は私も30～40回位は献血しているのですが、私はそれ以上に頂いているわけですが、私の長男は200～300回位は献血しており、表彰されております。成分献血といって400cc摂って成分だけとってまた戻してくれるという方法もあるそうです。私の知人でも1,000回やっている方もいます。私は20,000cc以上も輸血しています。献血以上にもらっているので献血のありがたみは分かっているのですが、ぜひ多くの人が助かりますので、日程等決まりましたらご協力頂きたいと思います。

以上で社会奉仕委員会の計画のご報告とさせて頂きます。

■當麻国際奉仕委員長

皆さん、こんにちは。山田ガバナー補佐、いつもお世話になります。まず、山田ガバナー補佐の顔を見ると、一昨年のモントリオール世界大会のことをすぐ思い浮かべます。国際奉仕委員長を10年位の間で考えますと、私は今年で3回目、樺澤さんは4回目で、その間に誰かが入っている、こういう状況がしばらく続いております。私

が国際奉仕委員長をやった時も、世界大会の時も樺澤さんには非常に助けていただいて、国際奉仕委員長を本年度も受けるということになったときにすぐさま思い浮かべたのが国際大会のことです。

私が国際大会に参加したのは5回位です。必ず、一人になる時間を一日はつくるようにしています。そして、行った先の人達とふれ合って話をしたり、名刺交換をしたりと、いろいろな形の中で体験させていただいております。特にロスの世界大会の時は、トランジットの飛行機がなかなか飛ばず、ラスベガス行きの飛行機の中で隣の席のアメリカ人の婦人にロータリークラブを知っているかというと知らないというし、国際大会でロスにきているのだけれど、ロータリーって何だ、という方もいらっしゃいました。またラスベガスからハリウッドへ行った時に、私はロスで食あたりになり体調を悪くして、一人ホテルで昼まで寝ていました。その後一人だったので、ハリウッドの街をブラブラしたのですが、街で知り合った現地のお嬢さんにハリウッドを案内してもらいました。一緒にマックを食べたりなど楽しい思いもしましたが、海外に行った時にはそういう形をとりますと、ロータリーの国際奉仕の活動方針でもある、世界の人々と親睦を育むという一つの国際奉仕になるのではないかなと思っております。

さて、今年度の国際奉仕委員会は委員長に私　當麻、野村(裕)副委員長、高橋委員、隅屋委員と4名でやっていきます。

まず、活動方針としましては、ロータリーの第4奉仕部門であります。国際奉仕の考え方として、「奉仕というロータリーの理想に結束した、職業人の世界的友好による理解、善意及び国際的平和の増進」というのが国際奉仕の考え方であります。包括委員会として、世界社会奉仕(W・C・S)委員会、ロータリー財団委員会がありますが、国際大会に出席による個人交流等、他国の人々に役立つクラブ活動やプロジェクトに協力していきます。

事業計画としては、第一に世界社会奉仕活動としての「シェルターボックス」援助活動の継続事業としてのスタートの年にして行きます。この事業をスタートするに当たり、地区補助金として財団より地区活動資金ＤＤＦを活用していきたいと思います。

まずシェルターボックスについてですが、ＲＩニュースの中で「シェルターボックスがロータリーのプロジェクトパートナーに」と取り上げられています。今年の3月30日に提携を結ばれ、その文面を読ませていただきます。「国際ロータリーと災害援助団体『シェルターボックス』(イギリスのＮＰＯ法人)は、今月、プロジェクトパートナーの提携を結びました。両団体は今後より密接な協力関係を築き、自然災害への被害者へ緊急支援や仮設シェルターを提供することになります。プロジェクトパートナーとは、ロータリークラブにより設立または管理され、ＲＩと特別な協力関係を結ぶグループを指します。この提携関係は両者の強みを生かし、世界の被災地で救援活動にあたることが狙いであります。」　東日本大震災の時にも被災地にシェルターボックスが20個、5日以内に届きました。テニスコートいっぱいに被災者がシェルターボックスで生活しておりました。1つのシェルターボックスには1家族(6人)で6か月分の救援物資が入っています。悪天候にも持ちこたえる特注テント、調理用コンロ、浄水キット、毛布、工具、その他必需品が納められております。そういうシェルターボックスが、今年ＲＩ提携関係にあるということで、非常にやりがいのあるプロジェクトだなと思います。今回提携により、被災直後にロータリークラブによる現地での支援確保がしやすくなりましたとＲＩ事務総長が申しております。こういう状況をふまえて、当クラブはシェルターボックスに目を付けたわけですが、1つ80万円と高額なので今年度だけでは無理です。その基礎を築いて、少しずつ継続事業として募金活動をしたりして、貯まったら3年後位を目標として地区活動資金ＤＤＦに申し込みながら最低80万円にしてシェルターボックスに寄付をしようというスタートの年にしたいと思います。

また、今年度の国際大会に一人でも多くの会員が参加して頂けるように「オン・ツー・リスボン」地区委員会とともに計画立案します。近々、皆さんに資料をお配りしたいと思います。また、タイの国際大会と同じように分区単位でとらえていこうと思っております。ガバナー補佐、よろしくお願い致します。

また、会長方針の一つでもありますが、「和」をもとにして国際交流の「輪」を広げたいと思います。ありがとうございました。

■野村(裕)新世代奉仕委員（飯田委員長代理）

皆さん、こんにちは。山田ガバナー補佐、松村幹事、本日はおいでいただきましてありがとうございます。第5奉仕部門の新世代奉仕委員会の報告をさせていただきます。本年度は飯田能士委員長、五十嵐光利副委員長、委員に私 野村の3名で活動させていただきます。

先週のＩＭにおいて、多田パストガバナーから基調講演をいただきました。テーマは「第5奉仕部門とロータリー活動」で、新世代奉仕は若者の善導を誰がする―大人は若者の鑑に、ロータリアンは言行一致を励行しようというお話をいただきました。これに基づいて今年度の当クラブの新世代奉仕の活動内容をまとめましたので報告いたします。

新世代奉仕は、2010年度よりＲＩ規定審議会において4大奉仕部門に新世代奉仕部門が加わり、5大奉仕部門となりました。次の世代を担う未来のリーダー、未来のロータリアンの健全な育成は社会においてまた、当東村山ロータリークラブにおいても重要なテーマであります。国際奉仕、社会奉仕の各委員長と密な連携を図り計画を推進していきたいと思います。また、地域の小、中学生の活動をサポートし、お互いの交流の機会を持ち、社会奉仕・地域交流・国際交流の場をバックアップしていきたいと考えます。そこで以下の5つの項目を活動計画としています。

1. 市内の新世代育成を目的とする諸団体への助成を行う
2. 青少年交換留学生の派遣及び受け入れ体制と環境づくり
   本年、交換留学生は受け入れ、派遣の予定はありませんが、ホストファミリー受け入れは当クラブにとっても重要な課題ですので、親善大使としての役割をホストとして交換を成功させるという重要な責務があります。ホストと学生の間で信頼と友情を育むことのできる、安全で尊重される適切な環境を提供させていただきます。
3. 東村山市青少年育成市民会議への参加
   市内で行われる中学生のクイズ大会への協賛(図書券)
4. 新世代のための月間(9月)は、会員が青少年を考える有意義な機会とするため、当クラブ新世代奉仕委員長が新世代奉仕入門の卓話研修を行った。
5. インターアクト、ローターアクトクラブからの卓話を行い交流を深める
   9月の新世代奉仕月間以外でも率先してインターアクト、ローターアクト、ライラから定期的に卓話をお願いする

本年も会長方針に従い会長、幹事、各委員長、事務局と密な連携を心がけていきますので一年間よろしくお願い致します。先週のＩＭの話に戻りますが、最後に山田ガバナー補佐から「多摩分区は第5奉仕部門に専念していく」というお言葉を聞きまして、自らもその心をかみしめてみてやっていきたいと思います。よろしくお願い致します。

■講評：
山田宗孝ガバナー補佐

長時間にわたり皆様方の話を聞かせていただきました。日頃はもう少しいい声なのですが、夕べお通夜がありまして、気合いを入れて長くお経をあげたので、ガラガラ声で申し訳ありません。一言コメントさせて頂きたいと思います。時間が来たら「チン」とならしてください。商売道具みたいなものですから「チン」は慣れていますので。

クラブ奉仕委員会の野村さんの発表ですが、最初におっしゃっていた東村山の名所旧跡を伺いまして、随分都会に近い方なのに風光明媚なところですね。この八坂神社のようなところもあるし、素晴らしい歴史をもった地域だなとひしひしと感じました。153,337人だそうですが、私どものあきる野市はせいぜい9万人ですから、やはり大都会だなと拝聴いたしました。

また、小町さんの3分間スピーチも楽しく聞かせて頂きました。実は今から35年以上前ですが、高等学校に勤めておりまして、その時に3分間スピーチをしなさいと強制し、しかもすごく恐い先生で、大変生徒に嫌われていたと思います。今思うと、もう一度戻れるならすごく優しくていい先生になれたらいいなと考えていました。クラブに入るといろんなことを訓練させられますが、3分間の時間の中で自分の思うことを発表するのは素晴らしい機会だと考えております。ぜひ続けてほしいと思っております。

また、会員の減少についておっしゃっていましたが、これはどのクラブも抱えている大問題です。「これがいい」というものはないのです。若い人が若い会員を呼ぶという連鎖反応を作れるような環境にないといけないのかなと思います。私は72歳ですが、老人が新しい会員を連れてきても、それは年齢の近い会員なのです。そうするとそれほど長持ちしません。うちのクラブにまだ20代の若者が入っています。そういう人たちは30代、40代の仲間を集めます。若い会員を集めることが、長持ちさせる得策かなと思います。なかなか入会には至りませんが、ＪＣなどは差当り一番のターゲットになると思います。ＪＣの方たちに入ってもらえるようにみんなで協力してやっていくのも一つの方法だと思います。

週報については、「簡素にして充実」というお話がありました。私も長い間、この週報もやらせて頂きましたが、これはクラブの歴史です。他にとっておくものはあまりないのですが、週報は残っているものなのでクラブの歴史を知るには週報を見るのが第一かなと思います。簡素にして充実した週報を作っていただきたいと願っております。

職業奉仕についてですが、クラブ奉仕委員会と協力しながら、ということをおっしゃっておられました。ぜひとも続けていっていただけたらなと思います。職場見学の予定もあるようですが、かつて私の寺に職場見学ということでクラブ会員全員が集まりました。何をしたらいいのか？葬式を見せたらいいか？うちのクラブには塔婆屋がいるのです！本堂でみんなに塔婆を書かせました。もし、上手く書けて、自信があったら自分の祖先のお墓に持って行ってあげなさいと言ったら、本当に持って行ってあげた人がいるんです。そういうのは住職にバレるとまずいのですが、誰からもクレームがつかなかったからよかったです。なつかしく思い出しながら、山本委員長の話を聞いていました。

社会奉仕委員会の話ですが、空堀川の清掃がなくなって非常に残念です。私はどんな川かは知らないのですが、たびたびこの話は出てきます。この清掃は残念ながら武蔵村山さんのお考えでやられないのですか？残った皆さんでやられてはどうかなと、ふと思ったりもしました。結構目立つ活動なのですから、ぜひ続けていかれたらいいなと思います。陰徳などという言葉もありますが、遠慮はしない方がいいと思います。時には遠慮も必要でしょうが、「こういうことをやったんだ」と、はっきり出していかれた方が私はいいと思います。産業祭もご参加されるとのことですが、子どもたちも一斉に、どうぞ力を注いでいただけたらと思っております。

私は痛いから献血はあまり好きではありませんが、免許の書き換えの時に2～3回したことがあります。1,000回以上という素晴らしい方もいらっしゃいますね。私は心臓の手術をした時に、自分の血液をずっと貯めておきました。この位貯まれば、心臓を手術したときに、もし出血しても自分の血液で足りるというところまで1か月程血液を貯める日々を過ごしたことがありますが、そういうことを思い出しながら聞いていました。ＡＢ型の人は特にご参加されたらいいかなと思います。

国際奉仕ですが、私は何度も妻と世界大会に参加させていただき、楽しいひと時を過ごしました。當麻さんは一人で過ごす日をつくるとおっしゃっていましたが、私は英語力がないものですからそういうことはしませんが、機会をつくって国際交流に励んでいらっしゃるそうなので、語学の得意な方は世界大会に参加されたらいいなと思います。

また、シェルターボックスの1つ80万円は高いですが、みんなの力で1つでも2つでも準備できるのなら、今、やっておかねばならない地球の現状だと思います。力を出し合って頑張っていただきたいと思っております。

新世代奉仕に関して、当クラブの推薦された、イギリスへ留学中の広沢君、私も面接をさせていただき、大変優秀な学生だなと思いましたが、断然トップで推薦され、ケンブリッジに留学されているわけです。奇遇ですが、面接のときに時間があったので話をしたら、ケンブリッジは15～16のカレッジに分かれていてそのうちの一つ、モードリン・カレッジというのがあって、そこへ広沢君は行ったのですが、私もかつて在籍していたことがあり、びっくりしました。2人でそんな話に花を咲かせたこともありました。当クラブの推薦者が、大変優秀な成績で現在勉強されていて、そういう学生のスポンサーになれるというのは、とてもうらやましく思います。

なかなか「チン」がなりませんね。つたない講評でしたが一言申し上げさせていただきました。本日は誠にありがとうございました。

■点鐘：中丸会長